

私立医学科の奨学金・特待生等制度の概要

2016年10月31日現在判明分

【表の見方】

- 1.各大学の独自の特待生制度、奨学金、及び自治体と大学が連携した医学修学資金をまとめたものです。各自治体が大学を指定せずに行う一般募集のものは掲載していません。
- 2.家計急変者、自然災害被災者などを対象とする学費減免、奨学金等は割愛しました。
- 3.対象者条件や返還免除条件は概略です。詳細は必ず各大学の募集要項、修学資金貸与案内等で確認してください。

大学	種類	給/貸	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、返還免除条件等	備考
岩手医科	入学時学納金の減免	免除	入試成績の優秀者		初年度学納金の一部		
	岩手県地域枠奨学金	貸与	地域枠入学者	15名	1年次850万円、2年次以降440万円、総額3050万円	県指定の公的病院に9年間勤務で返還免除	
	岩手県医療局奨学金	貸与	県立病院勤務希望者	13名以内	月額30万円以内、総額2160万円以内	臨床研修後、県立病院で貸与を受けた年数勤務で返還免除	募集人員は新入生募集枠
東北医科薬科	東北地域医療支援修学資金(宮城県)	貸与	A方式入学者	30名	6年間で3000万円	宮城県指定の医療機関で10年間勤務で返還免除(初期臨床研修の2年間は含まない)	
	同(宮城以外の東北5県)	貸与	A方式入学者	5名(各県1名)	6年間で3000万円	東北5県医療機関等で10~12年勤務で返還免除	
	同(宮城以外の東北5県)	貸与	B方式入学者	20名	本学の修学資金250万円/年、6年間総額1500万円+各県の修学資金(約1108万円~1792万円)	東北5県医療機関等で9年程度勤務で返還免除。本学の修学資金のみの場合は6年間(初期臨床研修の2年を含む)の勤務で返還免除	応募資格は各県の就学資金応募資格による
自治医科	修学資金貸与制度	貸与	入学者全員	全員	6年間の学生納付金全額2260万円と、入学時学費準備費40万円	各県(1次試験受験地)の指定公立病院で貸与期間の1.5倍勤務(勤務期間の半分はへき地)で返還免除	
	奨学資金貸与制度	貸与	申請者		無条件で月額5万円。家庭の経済状況と成績によって選考し月額15万円まで貸与	卒業後9年以内に割賦により返還	
獨協医科	初年度教育充実費5割減免制度	免除	一般入試・センター利用の成績優秀者		初年度教育充実費の5割(255万円)を減免		
	栃木県医師修学資金	貸与	AO、一般、センターの栃木県枠入学者	10名	入学金100万円、授業料350万円、総額2200万円	栃木県指定の公的医療機関等で貸与年数の1.5倍勤務(初期臨床研修期間含む)で返還免除	
	獨協医科大学特別奨学金	給付	2年次以上で学費支弁困難者		年額60万円		
	獨協医科大学医学生教育ローン利子補給奨学金	給付	AO入試入学者、他の4年次以上在籍者		年額20万円		
	関育英奨学金	貸与	2年次在学、優秀で学費支弁困難者		月額3万円(無利子)		
埼玉医科	特待生制度	免除	一般入試(前期・後期)の成績上位者	前期3名 後期3名	1年次300万円減免		
		免除	2年次以上の前年成績上位者	各学年3名	学費100万円減免		
	埼玉県地域枠医学生奨学金	貸与	入学後選考	16名	月額20万円、6年間まで	埼玉県内の医療機関に貸与期間の1.5倍の期間(初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	
	埼玉医科大学地域医療奨学金	貸与	地域医療従事志望者	各学年10名	月額5万円、どの学年からでも支給開始可能	大学指定の医療機関に支給月数と同期間勤務(初期臨床研修期間含む)で返還免除	
	埼玉医科大学研究医奨学金貸与制度	貸与	医学部3年次修了の研究医志望者	3名	10万円/月を4年次から大学院修了時まで(7年間)	学位取得後、埼玉医科大学医学部基礎医学部門で助教として採用され、貸与期間と同年以上の年限を研究医として勤務すれば返還免除	学位取得後に医師臨床研修を受ける場合は、その間は返済猶予期間となる
	毛呂山会育英制度	貸与	学費負担困難者		申請額に応じて審査		
国際医療福祉	医学部特待奨学生	給付	一般入試の成績上位合格者20名、センター利用の成績上位合格者5名	25名	授業料相当額190万円。6年間継続ならば総額1140万円		1年次は入試成績による。2年次以降は学内成績が上位20%以内に入らない場合、または懲戒処分を受けた場合は給付打ち切り
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)奨学金	給付	2年次以上の優秀学生	全学で5~6名	年間60万円~180万円		
	医学部年間成績優秀賞	給付	2~4年次の前年成績優秀者	3名	授業料(190万円)の、全額1名、半額2名		特待奨学生は表彰のみ
杏林	東京都地域医療医師奨学金	貸与	東京都地域枠入試の入学者	10名	学納金6年間分3700万円と、生活費月額10万円	初期臨床研修後、小児・周産期・救急・へき地のいずれか領域で、東京都指定の医療機関に支給の1.5倍期間(初期臨床研修の2年間含む)勤務で返還免除	東京都内の高校出身者または東京都内居住者
	茨城県地域医療医師修学貸与金	貸与	茨城県地域枠入試の入学者	2名	月額15万円、6年間総額1080万円	茨城県知事の指定する医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	茨城県内高校出身者または親が居住している者に限る
	杏林大学奨学金	給付	優秀で、学費支弁困難者	全学で45名以内	月額3万円		
慶應義塾	医学部人材育成特別事業奨学金	給付	医学部一般入試成績上位者	10名程度	1~4年次の各年度200万円、総額800万円。研究医養成プログラム選択者は「医学部研究医要請奨学金」として5・6年次に各年100万円給付。総額1000万円		奨学金候補者には入試合格時に通知される
	医学部奨学基金奨学金	給付	2年次以上の、学業成績優秀または社会的貢献顕著で、経済的援助が必要な者	若干名	上限100万円/年(再申請可)		年度により対象学年を限定することがある
	医学部教育支援奨学金	給付	学習上の奨励費用が必要と認められる4年生		上限50万円/年		年度により対象学年を限定することがある
	医学部総合医学教育奨励基金奨学金(医学部)	給付	経済的支援を必要とし、人物・学業優れ課外活動にも意欲的な2~6年生		上限30万円、1年間(再申請不可)		年度により対象学年を限定することがある
	医学部贈医奨学基金【経済支援学生】	給付	経済的困窮による修学困難者。対象は2~6年生		上限100万円/年(再申請可)		年度により対象学年を限定することがある

大学	種類	給/貸	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、返還免除条件等	備考
慶應義塾	医学部贈医奨学金【贈医顕彰者】	給付	学術活動、文化・芸術活動、スポーツ活動、社会貢献活動で優れた業績を上げた4・5年生		上限100万円/年(再申請可)		
	学問のすゝめ奨学金	給付	首都圏(1都3県)以外の高校出身者	全学で候補者500名	医学部は年額90万円を6年間。毎年申請・審査。地域ブロックごとを選考		受験前予約型(一般入試前に申請・候補決定)
	慶應義塾大学給費奨学金	給付	2年次以上の、経済的修学困難な優秀者	15年実績271名	年額20万円/年、1年間(再申請可)		
	慶應義塾大学経済支援給費奨学金	給付	全学年、経済的修学困難な優秀者	15年実績39名	授業料の範囲内、1年間(再申請可)。2015年の平均支給額25.6万円/年		
	慶應義塾維持会奨学金	給付	全学年、経済的修学困難な優秀で愛塾の者	全学で112名	医学部は80万円、1年(再申請可)		出身高校が首都圏以外の者を優先
	指定寄付奨学金		奨学金により異なる		10万円～50万円、1年		
順天堂	学費減免制度(A特待生)	免除	入試の優秀者	若干名	6年間で最大1880万円減免。1・2年次の学費448万円を免除(2年次の減免は1年次成績で1/3以内であることが条件)、3～6年次も同基準を適用		
	学費減免制度(B特待生)	免除	入試の優秀者	若干名	初年学納金のうち90万円免除		
	東京都地域医療医師奨学金	貸与	東京都地域枠入学者	10名	6年間の学費の全額(2080万円)と、生活費(10万円/月)、6年間総額2800万円	受給期間の1.5倍の期間(初期臨床研修期間を含む)、都内の小児、周産期、救急、へき地の医療機関で医師として従事(期間の1/2以上は指定の医療機関に勤務)で返還免除	東京都内の高校出身者または東京都内居住者
	新潟県医師養成修学資金(重点コース)	貸与	新潟県地域枠入学者	2名	月額30万円、6年間総額2160万円	1～5年次の夏季休暇に新潟県内で行われる地域医療研修に毎年参加(2～3日間程度)し、医師免許取得後は9年間(初期臨床研修含む)新潟県指定の医師不足医療機関に勤務で返還免除	
	千葉県医師修学資金(長期支援コース)	貸与	一般・センター・センター併用等の面接で意志確認し、入学後に貸与者決定	4名	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍以上の期間、千葉県内の指定医療機関に勤務で返還免除	
	埼玉県医師育成奨学金	貸与	一般・センター・センター併用等の面接で意志確認し、入学後に貸与者決定	3名	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍以上の期間、特定地域の公的医療機関に勤務、または特定診療科等に医師として勤務で返還免除	
	基礎医学研究者養成奨学金	貸与	基礎医学研究者養成プランを選択した者	6名	4年次以降、月額10万円	貸与期間と同期間以上、本学医学部で基礎医学研究者として従事して返還免除	
昭和	特待制度	免除	選抜I期合格上位者センター利用入試入学者	選抜78名センター全員	初年度授業料300万円免除		
	学校法人昭和大学奨学金	貸与	経済的学困者	56名	50万円または60万円/年		
	昭和大学医学部特別奨学金	給付	4年次成績30位以上	30名	5年次と6年次の授業料相当額	大学院医学研究科基礎系社会人枠に進学し、本学附属病院で初期臨床研修、大学院修了後4年以上本学で専任教育職員として従事しなければならない	
帝京	福島県地域医療医師確保修学資金	貸与	推薦の福島県特別地域枠の入学者	2名	月額23万5千円、6年間総額1692万円。他に入学金相当額100万円(希望者のみ)	福島県内の、指定病院で初期臨床研修、指定医療機関での勤務・後期臨床研修・研究の通算期間が受給期間の1.5倍となって返還免除	
	千葉県医師修学資金(長期支援コース)	貸与	一般入試出願時に募集、選考は入学後	5名	月額20万円、6年間総額1440万円	千葉県内の指定医療機関で貸与期間の1.5倍以上の期間(初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	一般入試出願時に募集	1名	月額15万円、6年間総額1080万円	茨城県知事の指定する医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	茨城県内高校出身者または親が居住している者に限る
	静岡県医学修学研修資金	貸与	一般入試出願時に募集、選考は入学後	2名	240万円/年、6年間で1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除。初期臨床研修を静岡県内の公的医療機関等で行った場合はその期間の半分(1年が限度)を上記の勤務期間に含めることができる	
	帝京大学公衆衛生学研究医養成奨学金	貸与	一般入試出願時に募集、選考は入学後	3名	1～3年次:5万円/月、4～6年次:10万円/月、博士課程4年間:5万円/月、初期研修期間(本学附属病院):10万円/月	コース修了後、義務年限を当該分野の研究者として従事して返還免除	
	帝京大学地域医療医師確保奨学金	貸与	入学後選考	4名	1年次520万円、2年次以降200万円/年、6年間総額1520万円	指定地域(福島、新潟、山梨、千葉、神奈川、岐阜、愛媛、茨城、埼玉、静岡)の県の修学資金を受けた者は、その規程により返還が免除される。県の修学資金を受けない者は、本学分院または指定地域の公立病院で初期臨床研修を行い、その後受給期間の1.5倍の期間勤務することで返還免除	
東京医科	特待生	免除	一般入試・センター利用入試の成績上位者	一般35位まで、七試15位まで	初年度の授業料と教育充実費の計500万円を免除		
	茨城県地域医療医師修学貸与金	貸与	推薦の茨城県地域枠入学者	8名	月額15万円、6年間総額1080万円	茨城県知事の指定する医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	茨城県内高校出身者または親が居住している者に限る
	山梨県医師修学資金	貸与	推薦の山梨県地域枠入学者	2名	月額13万円、6年間で936万円	医師免許取得後の15年間で9年間(初期臨床研修期間含む)山梨県内の公立病院等に勤務で返還免除	
	東京医科大学医学部奨学金	貸与	学費支弁困難者	若干名	学資の一部		
東京慈恵会医科	特待生制度	免除	入試成績上位者 2年次以上の前年成績上位者	5名 各学年5名	初年度授業料の全額250万円を免除 各学年授業料の半額125万円を免除		
	東京都地域医療医師奨学金	貸与	東京都地域枠入学者	5名	6年間の学費の全額2250万円と、生活費(10万円/月、6年間で720万円)、総額2970万円	受給期間の1.5倍の期間(初期臨床研修期間を含む)、都内の小児、周産期、救急、へき地の医療機関で医師として従事(期間の1/2以上は指定の医療機関に勤務)で返還免除	東京都内の高校出身者または東京都内居住者

大学	種類	給/貸	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、返還免除条件等	備考
東京慈恵会医科	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	入学後募集	若干名	240万円/年、6年間で1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除。初期臨床研修を静岡県内の公的医療機関等で行った場合はその期間の半分(1年が限度)を上記の勤務期間に含めることができる	
	慈恵大学奨学生	貸与	2年次以上	若干名	学費380万円の全額または半額		15年実績全額8名、半額5名
	父兄会奨学金	貸与	2年次以上	若干名	100万円/年		15年実績12名
	本多友彦慈恵医学教育奨励基金	給付		10名	学資充当のための50万円、1回限り		
東京女子医科	特待生制度	給付	一般入試成績上位者	5名	授業料(280万円/年)を4年次まで給付。入学後の学業成績が31位以下となると打ち切り		
	東京女子医科大学特別奨学生	給付	学費納入困難者		授業料・実習費の相当額または一部、1年。ただし毎年申請		
	公益信託川津哲郎記念奨学基金	給付	学費支弁困難者		4万円/月(卒業までの最短期間)		
	財団法人颯田医学奨学金	給付	学費支弁困難者		3万円/月(卒業までの最短期間)		
東邦	千葉県医師修学資金(長期支援コース)	貸与	入学後募集	5名	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍以上の期間、千葉県内の指定医療機関に勤務で返還免除	
	特待生制度	免除	2年次以上	各学年若干名	授業料のうち、1人最高100万円免除		
	東邦大学青藍会貸与奨学金	貸与		7名	学納金の2/3まで		
	東邦大学医学部東邦会貸与奨学金	貸与	学費支弁困難者	5名	月額5万円を1年間		
日本	日本大学特待生甲種	給付	2年次以上の優秀者	15年実績全学で67名	授業料1年分及び図書費		
	日本大学特待生乙種	給付	2年次以上の優秀者	15年実績全学で383名	授業料1年分		
	医学部土岐奨学金	給付	優秀者	15年実績3名	20万円		
	医学部永澤奨学金	給付	優秀者	15年実績1名	20万円		
	医学部同窓会60周年記念医学奨励金	給付	学費支弁困難者	15年実績3名	30万円		
	日本大学医学部同窓会就学奨学制度	給付	経済的就学困難者	15年実績1名	本学指定の金融機関の教育ローンでの在学中の利子相当額		
日本医科	特待生	免除	入試成績上位者	前期60名後期10名	初年度の授業料247万円を免除		
	千葉県医師修学資金(長期支援コース)	貸与	入学後募集	4名	月額20万円、6年間総額1440万円	貸与期間の1.5倍以上の期間、千葉県内の指定医療機関に勤務で返還免除	
	福島県地域医療医師確保修学資金	貸与	入学後募集	1名	月額23万5千円、6年間。他に入学金相当額100万円(希望者のみ)。総額1792万円	福島県内の、指定病院で初期臨床研修、指定医療機関での勤務・後期臨床研修・研究の通算期間が受給期間の1.5倍となって返還免除	
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	入学後募集	1名	月額20万円、6年間総額1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除	
	福島県へき地医療等医師修学資金	貸与	入学後募集	福島県全体で3名程度	月額23万5千円、6年間。他に入学金相当額100万円(希望者のみ)。総額1792万円	一定期間福島県内の対象医療機関の医師として勤務など要件を満たせば返還免除	
	東京都地域医療医師奨学金(一般貸与奨学金)	貸与	5年次生	東京都全体で26名	月額30万円、2年間総額720万円	初期臨床研修修了後3年間、小児、周産期、救急、へき地のいずれかの領域で東京都指定の医療機関に従事して返還免除	
	日本医科大学新生奨学金	貸与	優秀者。経済状況も考慮	16年実績16名	初年度の学納金の一部を無利息で貸与。16年の平均貸与額は93万円	卒業後3年目から10年の元金均等返済	
	日本医科大学奨学金	貸与	2年次以上の優秀者。経済状況も考慮	16年実績49名	学納金の一部を無利息で貸与。毎年募集し1年ごとに貸与。16年の平均貸与額は85万円	卒業後3年目から10年の元金均等返済	
	日本医科大学父母会奨学金	貸与	経済的困窮の優秀者	16年実績26名	学納金の一部を無利息で貸与。毎年募集し1年ごとに貸与。16年の平均貸与額は38万円	卒業後3年目から10年の元金均等返済	
北里	入学時特待生第1種	免除	一般入試合格者から選考	若干名	6年間の学費全額3890万円		選考面接あり
	入学時特待生第2種	免除	一般入試合格者から選考	若干名	6年間の学費の半額1945万円		選考面接あり
	在学時特待生	免除	2年次以降。前年度の成績上位者	各学年10名	授業料のうち200万円を免除		
	相模原市地域医療医師修学資金	貸与	一般入試相模原修学資金枠入学者	1名	学納金6年間分3890万円	相模原市指定の医療機関で初期臨床研修(2年間)、その後指定の医療機関で7年間勤務で返還免除	
	山梨県医師修学資金	貸与	一般入試山梨県地域枠入学者	2名	月額13万円、6年間で936万円	医師免許取得後の15年間で9年間山梨県内の公立病院等に勤務で返還免除	
	神奈川県地域医療医師修学資金	貸与	入学後に募集選考	5名	月額10万円、6年間で720万円	9年間(初期臨床研修除く)、神奈川県内の指定医療機関で指定診療科の業務に従事して返還免除	
	茨城県地域医療医師修学資金	貸与	一般入試茨城県地域枠入学者	2名	月額15万円、6年間総額1080万円	茨城県知事の指定する医療機関で9年間(初期臨床研修期間含む)勤務で返還免除	茨城県内高校出身者または親が居住している者に限る
	北里大学地域医療医師養成修学資金	貸与	5, 6年次生	8名	月額10万円(事情により30万円まで増額可)、2年間まで	次の①～③をすべて満たせば返還免除:①北里大学病院等で初期臨床研修 ②大学病院の指定診療科で後期臨床研修 ③後期臨床研修期間中に北里大学メディカルセンターまたは、神奈川県・埼玉県内、東京都(都心は除く)の地域医療病院に原則3年間出向	

大学	種類	給/貸	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、返還免除条件等	備考
北里	北里大学給付奨学金	給付	2年次以上の成績上位者で学費支弁困難者	全学で25名	医学部生は年額学費の1/3相当額、1年間		毎年1回募集
	北里大学貸与奨学金第一種	貸与	全学年、学費支弁困難者	全学で10名	月額5万円、年額60万円以内、1年間	卒業後1年後から月賦または年賦により15年以内に返還(無利子)	毎年2回募集
	北里大学貸与奨学金第二種	貸与	2年次以上の学費支弁困難者	全学で20名	学費1/2相当額、1年間	卒業後1年後から月賦または年賦により15年以内に返還(無利子)	毎年2回募集
	北里大学貸与奨学金第三種	貸与	5,6年次の学費支弁困難者	全学で若干名	学費相当額、1年間	卒業後1年後から月賦または年賦により15年以内に返還(無利子)	毎年2回募集
聖マリアンナ医科	特待生	免除	入試における成績・人物ともに優秀な者		初年の授業料・教育維持費・教育充実費の計540万円を免除		
	神奈川県地域医療医師修学資金	貸与	入学後選考	5名	月額10万円、6年間	9年間(初期臨床研修除く)、神奈川県内の指定医療機関で指定診療科の業務に従事して返還免除	
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	入学後募集		240万円/年、6年間総額1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除。初期臨床研修を静岡県内の公的医療機関等で行った場合はその期間の半分(1年が限度)を上記の勤務期間に含めることができる	
	聖マリアンナ医科大学奨学基金	給付	経済的な修学困難者	若干名	360万円を限度として給付		
	聖マリアンナ医科大学奨学金	貸与	学納金支弁困難者	3名以内	月額6万円、6年間	卒業後2年経過した翌月から、貸与期間の2倍の年月の範囲内で返還。ただし一定期間本学に勤務すると返還免除	
	学業成績等優秀学生奨学金	給付	優秀者	1名	学校納付金を限度として給付		
	明石嘉聞記念奨学金	貸与	経済的に学業継続が困難な者	若干名	月額6万円、6年間	卒業後2年経過した翌月から、貸与期間の2倍の年月の範囲内で返還。無利子	
東海	神奈川県地域医療医師修学資金	貸与	神奈川県地域枠入試の入学者	5名	月額10万円、6年間で720万円	9年間(臨床研修期間除く)、神奈川県内の指定医療機関で指定診療科の業務に従事して返還免除	
	静岡県医学修学研修資金	貸与	静岡県地域枠入試の入学者	3名	月額20万円、6年間総額1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除。初期臨床研修を静岡県内の公的医療機関等で行った場合はその期間の半分(1年が限度)を上記の勤務期間に含めることができる	
	東海大学医学部特別貸与奨学金	貸与	特定地域医療機関就業希望者	2年次10名 4年次5名	100万円/年	卒業後10年以内に、指定の特定地域医療機関に、貸与期間と同期間(最低3年)勤務で返済免除	
	医学部奨学金	給付	2年次以上の成績優秀者	25名	120万円/年		
	医学部奨学金(ひまわり)	給付	2年次以上の学費納入困難者	5名	120万円/年		
金沢医科	金沢医科大学医学部特別奨学金貸与制度	貸与	入試成績優秀者の中から審査	5名	330万円/年、6年間総額1980万円	卒業後直ちに本学に勤務し、勤務期間が通算5年に達すると返還免除。返還する場合は勤務期間により一定額を一括返還	募集人員の内訳は、公募1名、指定校地域2名、一般2名
愛知医科	愛知県地域特別枠入学	貸与	愛知県地域特別枠(A・B)入学者	A5名 B5名	愛知県修学資金:入学年度は月額17万5千円、2年次以降は月額15万円 大学の修学資金:入学年度は450万円、2年次以降は月額7万5千円 6年間総額2010万円	本学で初期・後期の5年間の研修を実施し、その後愛知県指定の公的医療機関に5年間勤務で返還免除	将来小児科または産婦人科の診療に従事する5,6年次生に対しては愛知県修学資金は月額5万円以内が加算される
	学納金免除制度	免除	2年次以上の前年成績優秀者	各学年2名以内	授業料の一部(100万円)を免除、1年。毎年選考		
	奨学金貸与制度	貸与	2年次以上で、卒業後本学に勤務する者	15年実績2名	年額300万円、最長5年間	貸与期間の2倍の期間、愛知医科大学病院に勤務(臨床研修医、大学院生含む)で返還免除	
藤田保健衛生	医学部修学資金貸与制度	貸与	愛知県地域枠入学者	10名	愛知県修学資金:入学年度は月額17万5千円、2年次以降は月額15万円 大学の修学資金:入学年度は500万円、2年次以降は年額80万円 6年間総額2010万円	本学または関連病院で初期・後期の5年間の研修を実施し、その後愛知県指定の公的医療機関に5年間勤務で返還免除	
	医学部成績優秀者奨学金制度	貸与	一般入試・センター後期の成績上位者	10名	150万円/年を6年間	本学病院または指定医療施設で一定期間医師の業務に従事して返還免除	地域枠入学者は除く
		貸与	入学後成績上位者	5名	150万円/年を4年間		
大阪医科	入学時特待生制度	免除	前期1次試験上位者	100位以内	入学時納付金のうち242万円減免		
	大阪府地域枠修学資金	貸与	大阪府地域枠入学者	2名	大阪府修学資金:月額10万円 大学の修学資金:年額200万円 6年間総額1920万円	卒業後9年間(研修期間含む)、大阪府内の病院に勤務(周産期、小児、救急、医師不足地域などの条件あり)で返還免除	
	研究医枠修学資金	免除	研究医枠入学者	2名	授業料の半額と、教育充実費の全額を免除。6年間免除総額1514万円	大学院で学位取得、基礎医学系または社会医学系の教員として研究活動を継続(学部卒業から10年後まで)しなければならない	
	大阪医科大学特定医療従事条件付奨学生	給付	6年次生	20名	年額100万円、1年	特定診療科(内科、外科、産婦人科、小児科、救急・麻酔科)に従事し、初期臨床研修後、本学附属病院・連携病院で3年以上勤務しなければならない	
	大阪医科大学医学部奨学金	貸与	経済的修学困難者	30名以内	年額170万円、1年。再出願も可能。無利子	貸与額によって返還プランは異なる。返還猶予・免除される条件がある	
	大阪医科大学仁泉会奨学金	貸与	経済的修学困難者	5~7名	年額約60万円、1年。再出願も可能。無利子	年額6万円を下回らない金額で10年以内に返還	
	大阪医科大学鉤奨学基金	給付	経済的に修学困難な女子学生	13年度実績2名	年額50万円		
	大阪医科大学伊藤奨学基金	給付	経済的修学困難者	13年度実績3名	年額60万円		
関西医科	学納金免除制度	免除	一般前期の1次試験成績優秀者		教育充実費(初年度100万円、2年次以降50万円/年。6年間総額350万円)を免除		
	大阪府地域医療確保修学資金	貸与	大阪府地域枠入学者	5名	月額10万円、6年間総額720万円	9年間大阪府内の病院に勤務(うち5年間は周産期、小児、救命救急センター、医師不足地域の公立病院のいずれかに勤務)で返還免除	
	関西医科大学学生奨学金(特別枠入学)	貸与	特別枠(推薦、一般)入学者	10名	年額100万円以内、6年間	10年間(本学での初期臨床研修期間含む)、本学指定の医師不足地域・診療科に勤務して返還免除	

大学	種類	給/貸	対象者等	募集人員	支給・貸与の内容	返還方法、返還免除条件等	備考
関西医科	研究医養成コース貸与奨学金	貸与	3年次から研究医養成コースに選ばれた者	4名	年額100万円、4年間	本学大学院に進学し、基礎社会系講座で研究活動を行い、修了した者は返還免除	
	関西医科大学特定診療科勤務を条件とする奨学金	貸与	5,6年次生で、附属病院特定診療科勤務希望者	各特定診療科5名以内	授業料の1/2相当額(120万円)を限度に最長2年間	本学で初期臨床研修をし、附属病院の特定診療科(外科・麻酔科・救急医学科)に3年以上勤務で返還免除	
	関西医科大学慈仁会給付奨学金	給付	2~6年次生で前年度成績上位者	各学年3名	月額5万円		
近畿	大阪府地域医療確保修学資金	貸与	推薦の大阪府地域枠入学者	3名	月額10万円、6年間総額720万円	貸与期間の1.5倍の期間(臨床研修期間含む)、大阪府内の病院に勤務(うち5年間は周産期、小児、救急、医師不足地域などの条件あり)で返還免除	
	奈良県緊急医師確保修学資金	貸与	推薦の奈良県地域枠入学者	2名	月額20万円、6年間総額1440万円。入学相当額100万円を別途貸与	貸与期間の1.5倍の期間(指定病院での臨床研修期間を含む)、指定のへき地医療機関、または指定医療機関の特定診療科(小児、産婦人、麻酔、救急、総合診療)に勤務で返還免除	
	和歌山県地域医師確保修学資金	貸与	推薦の和歌山県地域枠入学者	10名	月額20万円、6年間総額1440万円	9年間(臨床研修期間含む)、和歌山県内の指定医療機関に従事(うち1/2以上の期間はへき地または特定診療科(小児、産、麻酔、救急)に勤務)で返還免除	
	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	推薦の静岡県地域枠入学者	5名	月額20万円、6年間総額1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除。初期臨床研修を静岡県内の公的医療機関等で行った場合はその期間の半分(1年が限度)を上記の勤務期間に含めることができる	
	近畿大学給付奨学金	給付	成績優秀な経済的修学困難者		年額30万円、1年。毎年出願可		
	近畿大学奨学金	貸与	経済的修学困難者		年額60万円、1年。毎年出願可	卒業後、6~20年の年賦で返還	
兵庫医科	特待生制度	免除	一般入試成績上位者	5名	入学手続時納付金のうち215万円を免除		
	特定診療科医師養成奨学制度	貸与	一般入試成績上位者から選抜	3名	285万円/年(後期学費に充当)、6年間	卒業後通算5年間(初期臨床研修期間含む)、指定の診療科医師として勤務で返済免除。指定診療科は毎年決定される	2017年入学者については、外科1名、麻酔科・疼痛制御科1名、救急科1名
	兵庫医科大学兵庫県推薦入学制度	貸与	一般入試1次試験合格者に対し県が選考	5名	6年間の大学納付金(諸会費除く)の全額3700万円と、生活費130万円×6年間。総額4480万円	臨床研修2年→前期へき地派遣3年→後期臨床研修2年→後期へき地派遣2年、の9年間勤務で返済免除	
	研究医コース奨学金	貸与	3年次以上の研究医コース学生	4名以内	年間150万円、4年間で最大600万円	大学院に進学、学位取得等の一定条件を満たして返還免除	
川崎医科	静岡県医学修学研修資金(大学特別枠)	貸与	一般入試静岡県地域枠入学者	10名(予定)	月額20万円、6年間総額1440万円	初期臨床研修修了後、静岡県内の指定された公的医療機関で貸与期間の1.5倍の期間の勤務で返還免除。初期臨床研修を静岡県内の公的医療機関等で行った場合はその期間の半分(1年が限度)を上記の勤務期間に含めることができる	
	長崎県医学修学資金	貸与	一般入試長崎県地域枠入学者	6名(予定)	入学金・授業料(国立大学の標準額の1.1倍が限度額)、専門課程における学習図書購入費(20万円/年)、勉学生生活費(7万円以内/月)	貸与期間の1.5倍の期間、長崎県病院企業団等に勤務(うち1/2の期間は離島・へき地勤務)で返還免除	
	川崎医科大学特定診療科医師養成奨学金	貸与	4年次以上	各学年10名	年額200万円	附属病院または指定病院で初期臨床研修を行い、引き続き一定期間、医師不足が深刻な特定診療科に従事して返還免除	
	特待生制度	給付	2年次以上の成績優秀者(前年度成績1位)	1名	授業料相当額		
久留米	特待生制度	免除	一般入試成績上位者(1年次)	3名	教育充実料(2016年は400万円)の全額免除1名、半額免除		
			2年次以上の前年度成績上位者	6名	授業料の半額免除3名、教育充実料の減免3名		
	福岡県奨学金	貸与	福岡県特別枠入学者	5名	月額10万円、6年間総額720万円	福岡県内で9年間(臨床研修2年含む)、小児科・産科・外科(脳神経外科、整形外科などの外科標榜科を含む)・麻酔科・救命救急としての勤務で返還免除	
	久留米大学奨学金(貸与)	貸与	経済的修学困難者	医学部24名以内	年額10万円~270万円。毎年応募可	卒業後10年間の年賦返還(270万円貸与者は15年間も可)。年利1%	
産業医科	修学資金貸与制度	貸与	入学者全員		初年度約380万円、次年度以降約308万円、6年間総額約1919万円	貸与を受けた期間の1.5倍の期間、産業医学卒後修練課程の期間、大学院修学期間も含む	
	授業料免除制度	免除	経済的修学困難者	各学期60名程度	半学期の授業料(実質負担額)の全額267,900円または半額133,950円		
	開学30周年記念奨学金給付制度	給付	経済的修学困難者	各学期20名程度	15万円		2019年度をもって終了予定
	特待生制度	給付	学業成績優秀者4名と、学業成績躍進者3名	各学年7名	学業成績優秀者は45万円、学業成績躍進者は18万円		
福岡	福岡大学特待生	給付	2年次以上の前年度成績等優秀者	全学で200名	30万円		
	七隈の杜給付奨学金	給付	一般入試受験者、家計基準あり	全学で2000名	理系学部は50万円、1年		入学前予約型
	七隈の杜第3子以降特別給付奨学金	給付	第3子以降の一般入試受験者、家計基準あり	全学で1000名	30万円、1年		入学前予約型
	福岡大学給費奨学金(一号)	給付	2年次以上の経済的学業継続困難者	全学で200名	理系学部は50万円/年。毎年出願が必要		
	福岡大学給費奨学金(二号)	給付	課外活動の有能者	全学で20名程度	60万円以内、1年		
	福岡大学学生サポート募金給費奨学金	給付	経済的に修学困難な1年次生	全学で10名程度	30万円、1年		
	福岡大学奨学金(貸与)	貸与	経済的学業継続困難者	全学で250名程度	64万円/年。毎年出願が必要	卒業後10年以内で返還	
	福岡大学有信会奨学金	貸与	経済的学業継続困難な6年次生	全学で50名程度	50万円/年	卒業後10年以内で返還	
福岡大学利子補給奨学金	給付	本学提携の金融機関の教育ローンを借りている者	全学で100名程度	医学科は上限10万円まで			